

年間授業計画

高等学校 令和 8 年度 (2 学年用) 教科

家庭科

科目 家庭基礎

教 科： 家庭科

科 目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8 組： 堤ノ酒井）※班別少人数 (20人) クラス 半期で担当者交替

使用教科書：（ 東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造

）

教科 家庭科

の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を見つけ解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の構築に向けて人々と協働し、地域社会に参画することの大切さを学ぶとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むに必要な基礎的・基本的な理論をできるだけ体験的に理解し、関係する技能を身に付けることを目指す。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見つけ、その解決策を自ら考え、他者と情報を共有し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど課題を解決する力を養う。	よりよい社会の構築のために自分や家庭、地域社会にも目を向けて、日常生活の中から自ら課題を見つけ、その解決に主体的に取り組む姿勢を養うことを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 第1章 生涯を見通す 【知識及び技能】自立した生活を営むために生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、こらからの自分の人生の目標を描く。 【学びに向かう力、人間性等】各自が作った「人生すごろく」をデジタル共有し、自分と違う考えに	指導事項： 1. 人生を展望する 2. 目標を持って生きる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】自立した生活を営むために生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解している。 【思考・判断・表現】今までの自分を客観的に振り返りこれからの自分の未来を想像し表現することができる。他者の考えから学んだことを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	4
	B 第2章 人生をつくる 【知識及び技能】生涯を見通し自分のライフスタイルを考える事ができるように、様々な生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】グループでの発表活動を通して、他者の意見を尊重しつつ自分の考えをまとめる。	指導事項： 1. 人生をつくる 2. 家族・家庭を見つめる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】ライフスタイルの多様性や生き方を知っている。社会制度としての家族や家族と法律を理解している。 【思考・判断・表現】誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、自分の意見を発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	4
	F 第6章 食生活を作る 【知識及び技能】食生活の自立に必要な知識と知識を学ぶ。調理実習は2回実施予定。 【思考力、判断力、表現力等】食事の役割を理解し、自分や家族の食生活の計画・管理の仕方について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】食事の役割を理解し、自分や家族の食生活の計画・管理する方法について学ぶ。	指導事項： 1. 食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・調理室の利用上の注意（衛生指	【知識・技能】栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性を理解している。安全で衛生的な食生活について科学的、実践的に理解を深める。 【思考・判断・表現】各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し「健康に良い、栄養バランスの良い食事」とはどのようなものかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	8
	定期通院						0
	C 第3章 子どもと共に育つ 【知識及び技能】子どもの発達を知る。子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】子どもや子育てに対する理解を深めるために妊婦体験などを通して実践的に学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】命の大切さを知り、社会の一員として次世代を育む責任について考える。	指導事項： 1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 子どもと関わる 4. 子どもとの触れあいから学ぶ 5. これからの保育環境 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】子どもの発達に応じて適切に関わるため、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。子どもの生活習慣や衣食住について理解している。 【思考・判断・表現】子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、体験実習を踏まえて意見を発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	8
	F 第6章 食生活を作る 【知識及び技能】食生活の自立に必要な知識と知識を学ぶ。調理実習は2回実施予定。 【思考力、判断力、表現力等】食事の役割を理解し、自分や家族の食生活の計画・管理の仕方について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】食事の役割を理解し、自分や家族の食生活の計画・管理する方法について学ぶ。	指導事項： 1. 食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 3. 食品の選択と安全 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎 6. 食生活の文化と知恵 7. これからの食生活 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用	【知識・技能】栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性を理解している。安全で衛生的な食生活について科学的、実践的に理解を深める。 【思考・判断・表現】各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し「健康に良い、栄養バランスの良い食事」とはどのようなものかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	8

		・調理室の利用上の注意（衛生指導等を含む）					
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	D 第4章 超高齢社会を共に生きる 【知識及び技能】加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援方法、関わり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】高齢期、地域社会の一員としてより良く生きられる方法を自分の事として前向きに考える。	指導事項： 1. 大衆長寿社会の到来 2. 高齢期の心身の特徴 3. これからの超高齢社会 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】超高齢社会の背景を理解している。加齢に伴う心身の変化を理解している。 【思考・判断・表現】高齢期を支える社会の仕組みや課題について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	2
	E 第4章 共に生き、共に支える 【知識及び技能】安心して暮らせる社会の実現に向けて、国・地方公共団体の支援体制、支え合いの構造を知る。 【思考力、判断力、表現力等】誰もが生涯を通して自分の力を生かし、社会で支え合うための仕組みやバリアフリーについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて個人や地域の役割を考える。	指導事項： 1. 私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方 3. 共に生きる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の支援体制、支え合いの構造を知っている。 【思考・判断・表現】福祉の捉え方の変化など自分の身近なところにある課題を見つけ、互いに情報交換し、改善策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	2
	G 第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】被服の社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。被服製作を1回実施予定。 【思考力、判断力、表現力等】すべての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】次世代に引き継ぐことができる衣生活のあり方を考える。	指導事項： 1. 被服の役割を考える 2. 被服を入手する 3. 被服を管理する 4. 衣生活の文化と知恵 5. これからの衣生活 教材： ・デジタル教材 ・ミシン ・動画 ・裁縫道具 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】被服の役割やTPOを理解している。被服製作を通して衣生活についての理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】健康・快適・安全な衣生活を送るために必要な工夫について理解し発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	4
	H 第9章 経済生活をつくる 【知識及び技能】自立した責任ある消費者として現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】毎日の生活における様々な契約について学ぶ。最近の消費者問題について事例を利用し具体的に学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】消費者の権利と責任の変遷を踏まえてどうすれば消費者が市民社会が実現できるかを考える。	指導事項： 1. 情報の収集・比較と意志決定 2. 購入・支払いのルールと方法 3. 消費者の権利と責任 4. 生涯の経済生活を見通す 5. これからの経済生活 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】自立した消費者として適切に意思決定を行い情報を活用する方法について自分自身の事として理解している。 【思考・判断・表現】消費者問題にはどのようなものがあるか具体例をグループで調べ発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	4
	I 第8章 住生活をつくる 【知識及び技能】快適で健康。安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために住居の機能やライフステージ毎の住まい方の変化を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を見通した住生活について考え、将来の快適な住生活に向けての自分なりのイメージを持つこと	指導事項： 1. 住生活の変遷と住居の機能 2. 安全で快適な住生活の計画 3. 住生活の文化と知恵 4. これからの住生活 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】防災、日照、換気などに関する住まいの環境性能について理解をすることができる。 【思考・判断・表現】実際に住宅情報を利用して住まいに関するイメージを広げることができる。自分の理想の住居のイメージを考え発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	A 第1章 生涯を見通す 【知識及び技能】自立した生活を営むために生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、こらからの自分の人生の目標を描く。 【学びに向かう力、人間性等】各自が作った「人生すごろく」をデジタル共有し、自分と違う考えに	指導事項： 1. 人生を展望する 2. 目標を持って生きる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】自立した生活を営むために生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解している。 【思考・判断・表現】今までの自分を客観的に振り返りこれからの自分の未来を想像し表現することができる。他者の考えから学んだことを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	5
	B 第2章 人生をつくる 【知識及び技能】生涯を見通し自分のライフスタイルを考える事ができるように、様々な生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】グループでの発表活動を通して、他者の意見と表現し、自分の考え	指導事項： 1. 人生をつくる 2. 家族・家庭を見つめる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】ライフスタイルの多様性や生き方を知っている。社会制度としての家族や家族と法律を理解している。 【思考・判断・表現】誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、自分の意見を発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	5

3 学 期	F 第6章 食生活を作る 【知識及び技能】食生活の自立に必要な知識と知識を学ぶ。調理実習は2回実施予定。 【思考力、判断力、表現力等】食事の役割を理解し、自分や家族の食生活の計画・管理の仕方について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】食事の役割を理解し、自分や家族の食生活の計画・管理する方法について学ぶ。	指導事項： 1. 食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・調理室の利用上の注意（衛生指導等含む） ・作成プリントの利用	【知識・技能】栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性を理解している。安全で衛生的な食生活について科学的、実践的に理解を深める。 【思考・判断・表現】各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し「健康に良い、栄養バランスの良い食事」とはどのようなものかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	D 第4章 超高齢社会を共に生きる 【知識及び技能】加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援方法、関わり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】高齢期、地域社会の一員としてより良く生きられる方法を自分の事として前向きに考える。	指導事項： 1. 大衆長寿社会の到来 2. 高齢期の心身の特徴 3. これからの超高齢社会 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】超高齢社会の背景を理解している。加齢に伴う心身の変化を理解している。 【思考・判断・表現】高齢期を支える社会の仕組みや課題について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	2
	E 第4章 共に生き、共に支える 【知識及び技能】安心して暮らせる社会の実現に向けて、国・地方公共団体の支援体制、支え合いの構造を知る。 【思考力、判断力、表現力等】誰もが生涯を通して自分の力を生かし、社会で支え合うための仕組みやバリアフリーについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて個人や地域の役割を考える。	指導事項： 1. 私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方 3. 共に生きる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の支援体制、支え合いの構造を知っている。 【思考・判断・表現】福祉の捉え方の変化など自分の身近なところにある課題を見つけ、互いに情報交換し、改善策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	2
	G 第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】被服の社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。被服製作を1回実施予定。 【思考力、判断力、表現力等】すべての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】次世代に引き継ぐことができる衣生活のあり方を考える。	指導事項： 1. 被服の役割を考える 2. 被服を入手する 3. 被服を管理する 4. 衣生活の文化と知恵 5. これからの衣生活 教材： ・デジタル教材 ・ミシン ・動画 ・裁縫道具 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】被服の役割やTP0を理解している。被服製作を通して衣生活についての理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】健康・快適・安全な衣生活を送るために必要な工夫について理解し発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	4
	H 第9章 経済生活を営む 【知識及び技能】自立した責任ある消費者として現代の消費生活における意志決定の重要性と情報の活用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】毎日の生活における様々な契約について学ぶ。最近の消費者問題について事例を利用し具体的に学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】消費者の権利と責任の変遷を踏まえてどうすれば消費者市民社会が実現できるかを考える。	指導事項： 1. 情報の収集・比較と意志決定 2. 購入・支払いのルールと方法 3. 消費者の権利と責任 4. 生涯の経済生活を見通す 5. これからの経済生活 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】自立した消費者として適切に意志決定を行い情報を活用する方法について自分自身の事として理解している。 【思考・判断・表現】消費者問題にはどのようなものがあるか具体例をグループで調べ発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	4
	I 第8章 住生活をつくる 【知識及び技能】快適で健康。安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために住居の機能やライフステージ毎の住まい方の変化を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を見通した住生活について考え、将来の快適な住生活に向けての自分なりのイメージを持つこと	指導事項： 1. 住生活の変遷と住居の機能 2. 安全で快適な住生活の計画 3. 住生活の文化と知恵 4. これからの住生活 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 ・作成プリントの利用	【知識・技能】防災、日照、換気などに関する住まいの環境性能について理解をすることができる。 【思考・判断・表現】実際に住宅情報を利用して住まいに関するイメージを広げることができる。自分の理想の住居のイメージを考え発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							44